

函館工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	小論文
科目基礎情報						
科目番号	0076		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	社会基盤工学科		対象学年	4		
開設期	後期		週時間数	1		
教科書/教材	必要に応じてプリントを配布する。					
担当教員	下郡 啓夫					
到達目標						
1.自分の考えを根拠に基づき、論理的で筋道立った文章として書き表すことができる。 2.具体例などの効果的な材料を盛り込んで、説得力のある文章を書くことができる。 3.課題型・素材型・データ型などのタイプに応じた小論文が書けるようになる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	反論も想定した上で、隙のない論理を構築した文章を書くことができる。		根拠のある論理的な文章を書くことができる。		根拠の乏しい、論理的とはいえない文章しか書くことができない。	
評価項目2	読者を十分に納得させる効果的な材料を盛り込んだ文章を書くことができる。		具体例を挙げ、それによって説得性を備えた文章を書くことができる。		具体例がなく、そのため説得性のない文章しか書くことができない。	
評価項目3	制限時間内に制限字数に応じた様々な型の小論文を書くことができる。		典型的な型の小論文の書き方を理解し、基本の型を踏まえた文章を書くことができる。		典型的な型の小論文の書き方を理解できず、タイプに応じた文章を書こうと意識することもできない。	
学科の到達目標項目との関係						
函館高専教育目標 E						
教育方法等						
概要	自分の考え・意見を論理的に文章化し、説得力ある表現で主張できるようになるための注意点を学んだ上で、様々なタイプの小論文を書く演習を行う。					
授業の進め方・方法	相当数の課題が出るので、その都度丁寧に仕上げ、期限厳守で提出すること。この提出課題が50パーセント分の評価に該当する。 論理的な文章を書くためには、常日頃、社会や自然、人間存在等について問題意識を持ち、掘り下げて考えてゆこうとする姿勢を持つことが大切である。また、積極的に新聞の社説やコラムを読み、それを要約したり、提起された問題について、字数制限を設けた意見文を書いたりする練習も有効である。これらが、事前の準備学習ともなる。					
注意点	授業への参加姿勢に問題がある場合には、減点となるので注意すること。 J A B E E 教育到達目標評価：提出課題100% (E-2)					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週				
		2週				
		3週				
		4週				
		5週				
		6週				
		7週				
		8週				
	2ndQ	9週				
		10週				
		11週				
		12週				
		13週				
		14週				
		15週				
		16週				
後期	3rdQ	1週	ガイダンス、小論文作成の注意点とポイント		到達目標や授業概要・評価について理解することができる。 小論文作成に関わる注意点・ポイントを理解できる。	
		2週	小論文作成①		小論文を作成し、書き方を理解できる。提出後、添削を受け、より望ましい小論文作成について理解できる。	
		3週	小論文作成②		小論文を作成し、書き方を理解できる。提出後、添削を受け、より望ましい小論文作成について理解できる。	
		4週	小論文作成③		小論文を作成し、書き方を理解できる。提出後、添削を受け、より望ましい小論文作成について理解できる。	
		5週	小論文作成④		小論文を作成し、書き方を理解できる。提出後、添削を受け、より望ましい小論文作成について理解できる。	
		6週	小論文作成⑤		小論文を作成し、書き方を理解できる。提出後、添削を受け、より望ましい小論文作成について理解できる。	

		7週	小論文作成⑥	小論文を作成し、書き方を理解できる。提出後、添削を受け、より望ましい小論文作成について理解できる。
		8週	後期中間試験は実施しない 小論文作成⑦	小論文を作成し、書き方を理解できる。提出後、添削を受け、より望ましい小論文作成について理解できる。
	4thQ	9週	小論文作成⑧	小論文を作成し、書き方を理解できる。提出後、添削を受け、より望ましい小論文作成について理解できる。
		10週	小論文作成⑨	小論文を作成し、書き方を理解できる。提出後、添削を受け、より望ましい小論文作成について理解できる。
		11週	小論文作成⑩	小論文を作成し、書き方を理解できる。提出後、添削を受け、より望ましい小論文作成について理解できる。
		12週	小論文作成⑪	小論文を作成し、書き方を理解できる。提出後、添削を受け、より望ましい小論文作成について理解できる。
		13週	小論文作成⑫	小論文を作成し、書き方を理解できる。提出後、添削を受け、より望ましい小論文作成について理解できる。
		14週	小論文作成⑬	小論文を作成し、書き方を理解できる。提出後、添削を受け、より望ましい小論文作成について理解できる。
		15週	学年末試験は実施しない 小論文作成⑭	小論文を作成し、書き方を理解できる。提出後、添削を受け、より望ましい小論文作成について理解できる。
		16週	答案返却・解答解説	間違った箇所を理解できる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	提出課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	0	100	0	0	0	0	100	
基礎的能力	0	70	0	0	0	0	70	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	30	0	0	0	0	30	